



グループ通信

発行/ふれディアグループ本部 編集部
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4
朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎0120-116-017



こんにちは、ふれディア通信編集部です。今年も、残りわずかとなりました。毎年のことながら、1年ってあっという間に過ぎていきますよね。今年は「パリオリンピック」での日本人選手達の活躍や、大谷翔平選手のメジャーでの大記録達成など、スポーツの明るいニュースがたくさんありました。一方、能登半島で元日に起きた大地震や、9月の豪雨被害は甚大で、自然災害の恐ろしさを思い知らされた1年でもありました。自然災害が増えている理由は、やはり地球温暖化による影響が大きいと思いますが、こういった環境の変化について私達は食べ物を通して知ることでも少なくありません。例えば、何かの商品が大きく値上がりしたり、流通量が少なくなっていたり。「あれ?何かあったのかな?」と、気が付くことってありますよね。最近では、コーヒー豆やカカオ豆が気温上昇による収穫量の減少によって、年々値段が上がっています。この2年ほどは、イタリアやスペインでの干ばつや雨不足の影響を受けて、オリーブが不作となってオリーブオイルがびっくりするほどの高騰ぶり。価格の高騰は家計には厳しい面がありますが、コーヒー豆やカカオ豆が貴重になることで、改めてフェアトレードへの意識が高まっているといったメリットもあるようです。取引価格が見直されたり、暑さや病気に強い若いオリーブの木の植林が進んだりといった変化も起きているとのこと。また、国産のオリーブにも、注目が集まっているそうですよ。これまで国内のオリーブは、9割以上が香川県小豆島産でしたが、近年、オリーブ栽培に挑戦する地域が増加。九州や瀬戸内海沿岸といった温暖な地域だけでなく、地球温暖化や品種改良のおかげで生産できる地域が広がりを見せています。東日本大震災後には小豆島のオリーブ農園の技術支援を受けて、宮城県石巻市においても栽培がはじまり、地植えの“北限のオリーブ”が生産されているそうです。さらに、北海道でも、ビニールハウスを使った試験栽培がスタート。将来的には主要な生産地が、北へと変化していくのかもしれませんが。自分達が変わってしまった地球環境の変化に、私達自身の知恵と努力で向き合う必要があるようですね。それでは、皆さん今年も1年ありがとうございました。良いお年をお迎えください。

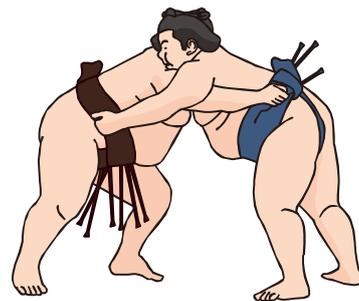


平成の重大ニュースプレゼント!



平成15年(2003年)には何があった!?

CDシングルの販売数300万枚超えの大ヒット曲、CDシングルとしては史上最も売れたSMAPスマップの「世界に一つだけの花」が発売されたのがこの年でした。“ナンバーワンよりオンリーワン”という歌詞に多様性を認める価値観の広がりを感じたものです。また、相撲界ではモンゴル出身の力士として初めて朝青龍関あさしやうりゆうぜきが横綱よこたなに昇進。圧倒的な強さの一方、闘志むき出しの取り組みには賛否両論あり、その一挙手一投足に注目が集まるなど話題に事欠かなかった力士でした。さらに同年は、横綱の貴乃花関たかのはな げきと武蔵丸関むさしまる げきが引退するといった角界節目の年でもありました。また、海外では、新型肺炎「SARSサーズ」がアジアを中心に大流行するものの日本人の感染者はゼロ。この時は約15年後に「新型コロナウイルス」が発生して世界中がパンデミックに陥るなど知る由もなかったですね…。



その他のニュース

イラク戦争が開戦し自衛隊派遣へ/「六本木ヒルズ」オープン/
ミスタードーナツが「ポン・デ・リング」を発売

